

邇摩高校PTA広報

Yurinoki



百合樹

第 30 号

平成 31 年 2 月 28 日
島根県立邇摩高等学校PTA

ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

PTA会長あいさつ

「人との出会いと縁を大切に」

坂根 勉



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様お祝い申し上げます。また、この3年間、

しっかりと子どもたちを支え、指導頂いた、邇摩高校の教職員の皆さまに心より感謝申し上げます。

今年度は、4月にはこの平穏な大田市で震度5強の島根県西部地震が起こり、始業式や入学式の変更など波乱含みの始まりとなり、7月には西日本豪雨が起き災害に見舞われた方もおられると思います。この場をお借りいたしましてお見舞い申し上げます。しかし、邇摩高校の生徒の皆さんはしっかりと地に根を据えて、地域や人との「縁」の大切さを感じながら、この災害を乗り越えてこられたと思います。これもひとえに、保護者の皆さま、教職員の皆さまの日頃の「教育によるもの」と感じます。

卒業生の皆さんは、記念すべき平成最後の卒業生です。この3年間で、いろいろなことにチャレンジして一回りも二回りも成長されたと思います。年号が変わる5月には新しい環境である進学先や就職先に皆さんは慣れ、夢や希望を持つて楽しく生活されていることだと思えます。これから、不安なことも起きると思えますが、その時は、この3年間一緒に学び遊んだ仲間たちとの「縁」を大切に、相談しあい助け合うことにより、もっと大きな人となれると思えます。

ので、友達を大切にしてください。また、皆さんが学んだ邇摩高校での「出会い」、これからの「出会い」、これらの「出会い」は自分自身を一回りも二回りも豊かに大きくしてくれるので、地域や学校での新しい「出会い」を積極的に受け入れ、この「縁」を財産として皆さんの人生がより豊かになることを期待します。最後にになりましたが、校長先生をはじめ、先生方、そしてPTA会員の皆さま、PTA活動にご協力いただきありがとうございます。皆さまのご協力のおかげでこの一年間のPTA活動を無事行うことができました。特に、文化祭では多くの皆様にフリーマーケットへ商品を提供していただき、また、PTA役員の皆様には文化祭当日の販売のお手伝いをしていただきありがとうございます。子どもたちを通して邇摩高校での「出会い」と「縁」を大切にしていきたいので、今後もしよろしくお願い致します。

校長あいさつ

「徒労」

三島 祐司



平素より本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

三年生はいよいよ卒業です。これまでお子様を支えてこられた保護者の皆様のご感慨は一人のことと推察いたします。さて、タイトルに掲げました「徒労」

は、「効果的な結果を伴わない無駄な骨折、無駄な苦勞」を意味します。「無駄骨」や「骨折損」と同じ意味を持っています。

正直言って、教育の世界には「徒労に帰す」ことが多々あります。教育の結果は見えにくく、成果を出すためには長い時間が必要です。我々教職員は、短期的な成果や数字を求めただけでなく、長い人生を見据えた子どもたちの成長を促す教育を心がけています。それが教育に携わる者の、そして大人の役割だと考えています。

教育に限らず、人生は無駄なことのほうが多いのかもしれませんが。「徒労」とわかっていても、真摯に向き合い必死に努力する。無駄を排除するのではなく、積み重ねを大切に、地道に努力する。目の前の人生を精一杯生き抜いていくことが、最終的には自分らしく生きることにつながるのかもしれませんが。

邇摩高校は、県下唯一の専門学科を土台とする単独総合学科高校です。そして総合学科は、これからの社会を自分らしく生き抜くための力を身に付けること、共生・協働による社会を自ら創造しようとする人材を育成する学科です。卒業生が、本校の学びを通して身に付けた力を存分に発揮し、様々な場面で活躍してくれることを期待するとともに、自分を生かす人生を力強く歩んでくれることを願っています。今後とも保護者の皆様とともに見守っていく所存です。終わりに、高校教師の経歴をもつ俵万

智さんの短歌を一つ紹介します。

「徒勞という字を尋ねれば、生徒の徒、苦勞の勞とわけなく言えり」

〔サラダ記念日〕より

卒業生保護者より

テーマ「贈る言葉」

福田 稔彦

光陰矢の如し。

希望と不安を抱きながら邇摩高校へ入学した日を、昨日の事の様に思い出しします。

学校生活では、多くの人達と出会い、様々な事を学び、視野が広がった事でしよう。

この三年間での出会いや経験は、貴方の一生の財産、宝物になって行くでしょう。

これから社会へ出て行く貴方にとって、心強い味方になってくれる筈です。貴方の夢の実現に向かって、力強く、大きく羽ばたいて下さい。

父と母も、精一杯応援しています。

「健康に成長してくれて、ありがとう。」
「卒業、おめでとう。」

卒業おめでとう(さ)います。
森山 裕子

高校へ入学すると就職か進学かといったあたりから、未来が見え難い時期もあったと思いますが、卒業生の皆さんは諸先生方からの学習面での指導や様々なイベント参加といった貴重な体験を

通して、未来を思い描く力が培われ、未

来はその力がやがて実を結び、力を授かった幸せをいつか思い出す事もあるでしょう。また皆さんには、生まれてから

知らず知らずの間に受け取ってきた贈り物が三つあると思います。一つは、仲間と共に分かち合う生活。それと健康。

そして思い描く事の自由です。この三つの贈り物を財産として未来に活かして下さい。これからの未来も良い出逢いに

巡り合い、心身ともに健康であり、想像力が豊かでありますように。

最後に、心が育つ仕上げの時期に大切に寄り添って下さった諸先生方に、心からの感謝と敬意を捧げます。ありがとうございました。

卒業おめでとう!

金村 千秋

卒業おめでとう!

高校3年間があつという間に終わりましたね。入学当初から問題を起こし不安になった事は忘れられません。でも、それからは少しずつ自分で考え行動をし、学校行事や部活など様々なことに一生懸命取り組む姿を見ることができました。よく勉強を頑張ったと思います。

多くの友達にも恵まれ本当に楽しそうでした。私達親も色々な事を勉強させてもらいました。とても貴重な時間だったと思います。

これから自立していく中で今までになが様な経験が待っていると思えますが、やりたい事に向かって後悔のないように突き進んで下さい。それと人と人との

つながりも忘れずに大事にして下さい。

最後に3年間フォローして頂いた先生方に感謝致します。本当に有り難うございました。

卒業生より

前生徒会長 松本 伸



邇摩高校の三年間はとても充実して一日も休まず学校に登校して

いた。特に、勉強が好きだからという訳ではなく、ただ単に協力し合える友達と

先生方となら、楽しい学校生活を送れるんだという期待があり、その気持ちがあ

ったからこそ、毎日学校へ足を運べたんだと思います。ただ、唯一、テストがある時だけ行きたくないと思ったりしました。

様々な出会いと出来事がある邇摩高校は、来ていてあきない学校だと思っていたので、生徒会長に就任した時には、この学校で良かったといってもらえるようにしようと、様々なことにチャレンジしました。たくさん苦勞しましたが、やり遂げたという達成感を味わえることと、成長した姿を互いに励ましあうことができてとても楽しかったです。

このように、楽しい思い出をたくさん作ってくれた友達と先生方と家族にとっても感謝しています。本当に三年間ありがとうございました。

三年一組 一段 亮仁

この邇摩高校で過ごした三年間は今思えばあつという間でした。

入学当初は、環境の変化に戸惑いを感じ、楽しくやれるかどうか不安がありました。けれど、気づけば友人が出来、不安など消えていきました。文化祭や体育祭などを通し、友人達との絆はより深まり、この学校生活は充実したものになりました。

先生方にもとても助けられました。進路の相談から世間話まで気軽にしてください、邇摩高校に来て本当に良かったと思います。

僕は県外で就職しますが、この三年間は絶対に忘れません。今まで本当にありがとうございました。

三年二組 井川 叶美

私の高校生活の始まりは、よくある青春ドラマのように輝かしいものではありませんでした。

小・中学校と違い、名前も知らない人が大半の中での生活が始まることや、中学校という狭い空間がすべてかのように感じていた自分が、急に広い世界に放り投げられるような不安に苛まれていたからです。

その不安は、すぐになくなるものではありませんでしたが、今思えば、それすらも良い思い出です。部活動や進路のことなど、当時どうしようもないほど悩んでいたことも、思い返してみると、それらすべてが私のかけがえのない高校生活を作りあげていたことに気づくことができました。

これからも、すべてのことに意味があ

るということを忘れずに頑張りたいです。本当にお世話になりました。ありがとうございました。ありがとうございました。

三年二組 内田 和花

高校三年間あつという間でした。穏やかで安定した日々を送ることができたことを幸せに思います。

邇摩高校での文化祭や体育祭はとてもいい思い出です。私が一番思い出に残っているのは邇摩高フェアです。系列のみんなと企画、運営を通して地域の方々と交流することができ、とてもいい経験になりました。

進路決定で悩んだこともありましたが、相談にのってくださった先生方や友人のおかげで内定をいただくことができました。また、いつも温かく見守ってくれた家族にも本当に感謝しています。三年間お世話になりました。ありがとうございます。

教職員より

「巣立ちゆく君へ」

三年学年主任 勝木 仁美



今日の佳き日に、君は何を思うのだろうか。この学び舎で過ごした三年間で、君は何を学んだのだろうか。

楽しかったこと、悲しかったこと、悔しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったこと、

様々なことが胸をよぎっているだろう。それはすべて自分の成長。それはすべて自分の存在証明。

たくさんの期待と夢と、少しばかりのセンチメンタルを携えて、広がる大空へと飛んでゆきたまえ。君の幸せを祈ります。卒業おめでとう。

「きつと大丈夫」

進路指導部長 松田 直子



卒業生の皆さん、高校ご卒業おめでとうございます。人生の、大きな節目をひとつ越えましたね。明日からまた、それぞれの人生を積み上げる、別々の生活が始まります。新しい場所で、新しい人たちと。色々な試練があると思います。でも、きつと大丈夫。

世の中はどんどん変わる。AIが引き受ける仕事、人間にしかできない仕事、求められる新しい力：今の想像とはまるで違う未来になるかもしれない。でもだからこそ、自分の芯をしっかり持って生きて！人の気持ちが変わり、人の痛みがわかり、人に優しく、そして明るくたくましい。それは、人間こそが持てる力であり、そして皆さんの長所だと思っ

だからきつと大丈夫。そしていつかまた、

それぞれの道をたくましく歩いている姿を、見せてくださいね。

「明るく・素直に・ポジティブに」

三年一組担任 岡田 真弓



卒業おめでとうございませう。

これから先、今まで以上に楽しいことはもちろん、辛いことも悔しいこともたくさん経験すると思います。しかし、周りの人達への感謝の気持ちと謙虚さを忘れず、素直に「ありがとう」と「ごめんなさい(すみません)」が言える人であれば、どんなことでも乗り越えられるはず。きつと皆さんなら大丈夫！

あなたを支えてくれる人はきつといます。ひとつひとつの出会いを大切にしてください。(どんな出会いにも必ず意味があるはずです)、新しい環境でそれぞれ活躍してくださいね。――明るく！素直に！！ポジティブに!!! みなさんの幸せを心から願っています。

『邇摩プライド』いつまでも胸に！

三年二組担任 矢富 克成



卒業おめでとう！

実は少しさみしいです。保護者の皆様、ご卒業、おめでとうございませう。多方面にわたるご協力・ご支援いただき大変ありがとうございます。

ございました。

さて、朝礼で「静かに」とか、「聞けー」とか、注意しなかった日がないくらい賑やかな人たちでしたが、卒業間近になり、注意することが少なくなつた(当たり前ですが…)君たちの成長が嬉しくも、なぜだかさみしく感じていました。何事も、実践向きのみなさんですから、学校生活よりも社会に出てからの方が活躍してくれると思います。

世の中、学力が全てではありません。いろいろな物差しがあります。君たちが邇摩高校で過ごした3年間、は本物です。良い思い出が多い人も、そうでない人も、この3年間を誇りに思っ

てほしい。邇摩高校は君たちの母校です。いつまでもそれを自信にして、『邇摩プライド』を持ち続け、社会で大活躍してほしいと思います。卒業おめでとう。

「卒業生へ贈る言葉」

三年三組担任 吉田 幸久



卒業おめでとうございませう。

月、邇摩高校に赴任していきなり君たちのクラスを持つことになり、どんな生徒たちだろう、と期待と不安の入り混じった気持ちで始業式を迎えました。君たちも、どんな担任だろう、と思っていたのだろうか。あれから一年が過ぎ、卒業式を迎えることとな

りました。球技大会、体育祭や文化祭、就職や進学試験の準備など場面ごと君たちが一生懸命に、必死に頑張る姿を見てきました。そしてその都度愛らしいと感じ、幸せな気持ちで過ごしてきました。一年間ありがとうございました。卒業後の成長した君たちに会うのが楽しみです。

新生徒会より

新生徒会長 山口 凜

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この度、生徒会長になりました二年三組の山口凜です。

自分は、元々人前で話すことが得意ではなく、すぐ緊張してしまう性格でした。生徒会長になってからも全校の前で話すときは緊張してなかなか上手く話せず、正直不安ばかりです。まだまだ生徒会長らしさはありませんが、経験を積み成長していきたいと思えます。

今年新しいことに挑戦できればと思っているのですが、生徒一人一人の心に残るような活動を行えるように、執行部が中心となって取り組んでいきたいと思えます。

そして、フェアや文化祭など、地域の方々と交流できる場を大切に、地域の人に愛される学校を目指していきます。執行部が率先して挨拶やボランティアを行い、生徒のお手本となるよう活動していこうと思えますので、これからの新生徒会執行部をよろしく願います。

後期部活動報告



弓道

- 県選手権
 - 男子団体 16射5中(予選敗退)
 - 女子団体 36射17中(予選通過)
 - 決勝リーグ1勝3敗5位(中国新人出場)
- 中国新人大会
 - 女子団体 24射14中(予選通過)
 - 決勝トーナメント一回戦 瀧摩0-8倉吉西
 - 競射の結果敗退 ベスト16

バスケット

- 県選手権
 - 男子 瀧摩34-400 松江高専
 - 女子 瀧摩22-111 松江西

バレーボール

- 県新人戦
 - 男子 瀧摩45-78 松江南

ソフトテニス

- 県新人戦
 - 男子個人戦 一回戦勝利 坂根・竹原
 - 女子団体戦 一回戦 瀧摩0-2 江津

卓球

- 県選手権
 - 女子学校対抗 一次リーグ
 - 瀧摩0-3 浜田 瀧摩0-4 矢上
 - 瀧摩0-3 大田 瀧摩2-3 飯南

県新人戦

- 男女シングルス11名出場

バドミントン

- 女子ダブルス 1組出場
- 女子シングルス 2名出場

県新人大会

- 女子学校対抗戦 瀧摩1-3 松江南
- 女子学校対抗戦 瀧摩0-3 出商
- シングルス男子6名 女子10名出場

野球

- 秋季野球大会 二回戦 瀧摩1-13 出商

柔道

- 県新人戦 男子団体3位(中国新人出場)
- 男子個人 熊野御堂2位 鎌田3位
- 女子個人 植井1位 居石3位

中国新人戦

- 男子団体(予選1勝1敗1引分け)
- 女子団体(予選0勝3敗)

県選手権

- 男子団体 5位 女子団体 3位
- 女子個人 植井3位 居石3位

吹奏楽

- 全日本吹奏楽コンクール島根県大会
- 高校小編成の部 金賞

写真

- 秋季写真コンクール 特選
- 武内・波多野・大野・植井・服部

文芸

- 島根県高等学校写真展 奨励賞 山根
- 県文芸コンクール

詩の部

- 短歌の部 優良作 中島・岩木
- 俳句の部 優良作 岩木・松井佑

石見神楽部

- 全国高等学校総合文化祭信州大会
- 第18回郷土芸能の集い

農業クラブ

- 意見発表県大会

区分1類

- 優秀賞 山藤 綾
- 区分2類 優秀賞 森 謙伍
- 区分3類 優秀賞 鎌田航多

プロジェクト発表県大会

- 区分1類 優秀賞 坂根・山藤・松村成・武田

家畜審査競技県大会

- 団体優秀賞 武田・松村成・中川
- 個人優秀賞 花田・森・森脇・松尾・田中り・森野・岩木・小川・竹下・和田

平板測量競技県大会

- 優秀賞 飯田・宮脇・森野・知野見

家庭クラブ

- 家庭クラブ連盟研究発表大会
- ホームプロジェクト 優秀賞 柳井

資格取得

- 国語科
 - 漢字検定 準2級2名、3級8名

英語科

- 英語検定 3級2名

家庭科

- 食物調理検定 1級3名、2級17名
- 被服製作技術検定
 - 和服1級1名、和服2級8名
 - 洋服1級4名、洋服2級6名

保育技術検定

- 造形表現技術1級7名、2級9名
- 言語表現技術1級10名、2級12名
- 家庭看護技術1級10名、2級12名
- 音楽リズム技術1級4名、2級12名

ビジネス系列

- 全商珠算・電卓実務検定
 - 珠算1級1名
 - 電卓1級9名、2級13名
- 全商簿記実務検定 2級3名
- 全商情報処理検定
 - ビジネス情報 2級11名、3級21名
 - 全商ビジネス文書実務検定 1級3名、2級14名、3級41名

農業系列

- 小型車両系建設機械 12名
- 危険物取扱者三種 1名
- 食生活アドバイザー3級3名
- 福祉系列
 - 介護職員初任者研修課程 3名
 - 認知症サポーター 3名

瀧摩高校 フェイスブック ホームページ
 ご覧下さい
 <https://www.facebook.com/shimane.nimakou/>
 瀧摩高校WEBサイトと連動しており、記事をタップすると、瀧摩高校 WEB サイトの「お知らせ」に繋がります。
 *緊急連絡も掲載しています。

 瀧摩高校 WEB サイト
<https://www.nima.ed.jp/>
 瀧摩高 QRコード